

# 811 Excavation Safety Conference & Expo に参加して



伊藤 宏和

ITO Hirokazu

高千穂産業(株)  
貿易課課長

## 1. はじめに

2017年3月14日～16日の日程で開催されました811 Excavation Safety Conference & Expo に参加してまいりましたので、簡単ではありますが本紙面をお借りしましてご報告いたします。今回は全米屈指の観光都市として知られております、オーランド（フロリダ）での開催となりました。

## 2. 展示会概要

米国における地下探査コールセンターである811主催の展示会であり、地中探査レーダー（GPR）・ケーブルロケータ・金属探知器などの地下探査ツール及び、埋設位置をマーキングするためのマーカー・フラッグといった周辺機材など、811指定の地下探査において使用される測定器・資材が幅広く展示されておりました（写真-1、2）。出展企業は当社米国販売代理店であるMcLaughlin社を含む50社程度であり、オープニングセレモニーではバーカウンターが設置され、811コールPRのための専用車（写真-3）も展示されるなど、非常に活気のある展示会でした。



写真-1 展示会場風景

## 3. 811コールについて

米国における管路・ケーブルを含む地下埋設物探査のニーズは非常に多く、その理由は市街地の配電のほぼ全てを地下配線でまかなっているためです。811コールの概要について、96号掲載の弊社記事より少々抜粋いたします。

811は地下探査のワンコールセンターであり、全米どの州であっても掘削工事を行う者は事前に連絡を行い、埋設物の有無を照会し、不明であるならば811指



写真-2 展示会場風景



写真-3 811カー

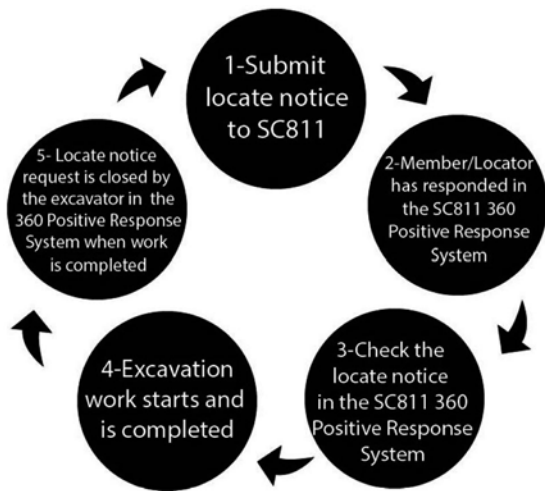


図-1 SC州における811事例

定の地下調査会社にて探査が行われます。おおよその手順を以下にご紹介します（図-1）。

- ①地下工事を意図する工事業者は、811をコールする。（一般人が自宅の庭先を掘削する際も州法によっては、811の利用を義務付けられている）
- ②811コールセンターにより、Dig Ticket（掘削チケット）が発行される。Dig Ticketは掘削予定現場と一対一で紐づいている。
- ③Dig Ticketが発行されると、該当箇所を含む地域に地下埋設物を有している電力・ガス・通信などの事業者へ、掘削予定箇所が通知される。
- ④前述の③に該当する事業者は、掘削予定箇所の探査を行う。
- ⑤Dig Ticketには有効期限があり、その期限内に掘削工事を完了させる必要がある。

このように埋設物の総量が多く、かつ上述の通り仕組に組み込まれた探査方式から、米国においては地中探査レーダー（GPR）やケーブルロケータを用いた探査業務の実施頻度は本邦と比べ物にならないほど多く、地下探査のみで本展示会を開催していることからご理解頂けるかと思えます。

#### 4. 当社が参加したセッション内容について

McLaughlin社と共にいくつかのセッション・ワークショップ・会議に参加し、特に興味深かったセッションの内容をご紹介します。

Mike Sullivan氏, Alberta One-Call  
Call or Click ? How You Request a Locate Can Improve Your Safety.

##### 【タイトル】

「電話するか？クリックするか？どのように地下探査（ロケーティング）を依頼するかが安全を左右する。」

##### 【要旨】

「811にダイヤルするか、ウェブサイトから探査依頼を出すか、モバイルアプリを活用するか、正しい選択を行うことで、誤切断事故リスクを最小化できる。最もリスクを低減するための地下探査（ロケーティング）手法をご紹介します。」

811コールも設立当初からのワンコールダイヤルだけでなく、昨今ではClickBeforeYouDig.comという専用ウェブサイトからの探査依頼や、試運転中のGISシステムと連結した携帯端末向けアプリケーションを用いた依頼方法などの紹介がありました。特に携帯アプリを活用したシステムでは、過去の探査依頼、探査結果、GISデータを閲覧することができ、さらなる誤切断防止に特化できるとのことでした。当社としては、このような探査依頼方法の簡素化によって、米国におけるさらなる製品需要の拡大を期待しております。

#### 5. その他興味深いトピックス

昨今米国においては、従来811をあまり活用していなかった農業地帯における埋設管路・ケーブル探査の必要性が取り上げられておりました。参加したセッションのひとつで配布された、811編集のEXCAVATION（開削）特集号（写真-4）の内容を少しご紹介します。

アメリカには220万以上の農場があり、世界中で4億人以上に食料を供給している。

何百万マイルにもおよぶパイプラインが、石油・天然ガス・水運び、1,000万マイル以上の通信ケーブルと電線は、アメリカ合衆国を縦横に走って埋設され、これらの埋設管路・ケーブルの多くは、農業地帯の地下を通っている。市街地・幹線エリアだけでなく、農業地帯においても811コールを普及させるため、まずはPRE-EXCAVATION Checklist（開削前事前確認チェックリスト）の活用を徹底頂きたい（写真-5）。

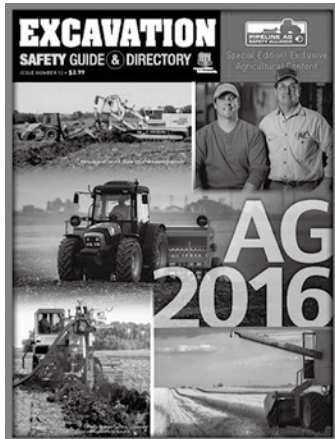


写真-4 特集号表紙

## 6. おわりに

当社ケーブルロケータは、811コール及び探査会社をエンドユーザーとして、幅広くご愛用頂いております。今回販売代理店からの招聘により初めて811 Excavation Safety Conference & Expoを訪問しましたが、市場規模の大きさに改めて圧倒されました。弊社高千穂産業㈱は、電磁誘導法を用いた地下探査技術を軸として、今後も国内外顧客ニーズに則した非開削技術開発に取り組む所存でございます。今後ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます(写真-6)。



写真-5 チェックリスト



写真-6 McLaughlin社スタッフと